

結果の要約

1 職業

徳島県の15歳以上就業者数(373,825人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が105,412人(15歳以上就業者数の28.2%)と最も多く、次いで「事務従事者」が61,173人(同16.4%)、「専門的・技術的職業従事者」が53,547人(同14.3%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,287人(16.7%)増、「保安職業従事者」が382人(7.2%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が2,239人(20.6%)減、「運輸・通信従事者」が1,608人(11.8%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が33.0%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.4%、「販売・サービス関係職業」が24.1%、「農林漁業関係職業」が9.7%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.8ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.6ポイント、0.6ポイント低下している。また、「事務・技術・管理関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.0時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.5時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.5時間、「販売従事者」が43.9時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.8時間減、「販売従事者」が2.2時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が93,399組(夫婦数202,771組の46.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が53,063組(同26.2%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が10,527組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の11.3%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が9,170組(同9.8%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は75,098世帯(住宅に住む一般世帯293,546世帯の25.6%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は218,448世帯(同74.4%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が79,213世帯(同27.0%)、「女性のみ」の世帯が37,562世帯(同12.8%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が17,734世帯(同6.0%)となっている。

図1 徳島県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

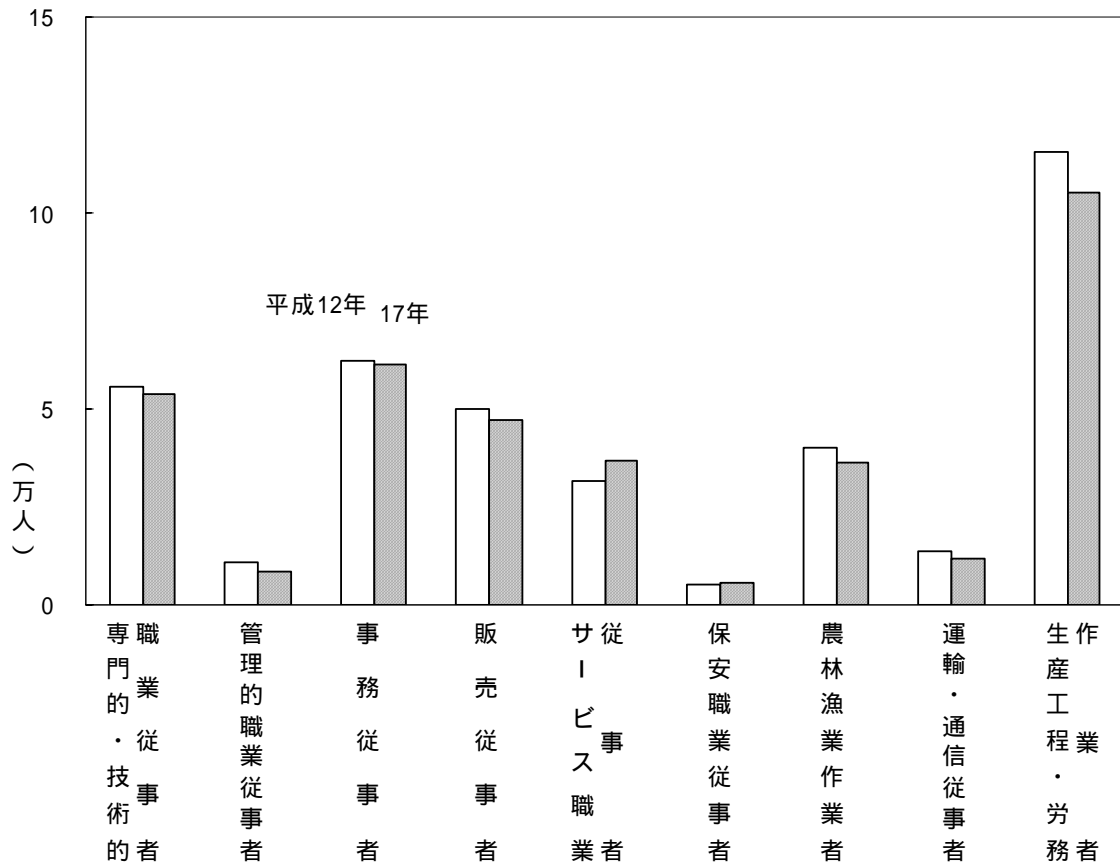


図2 徳島県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

